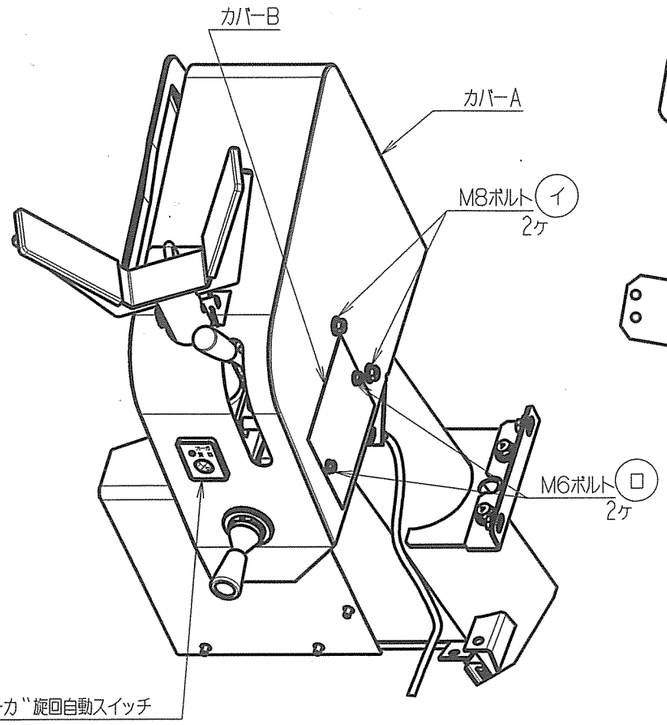
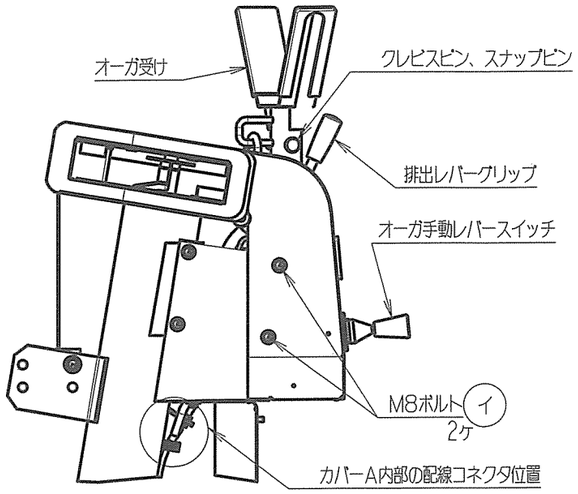
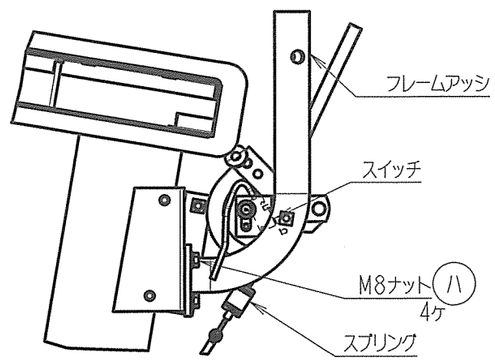
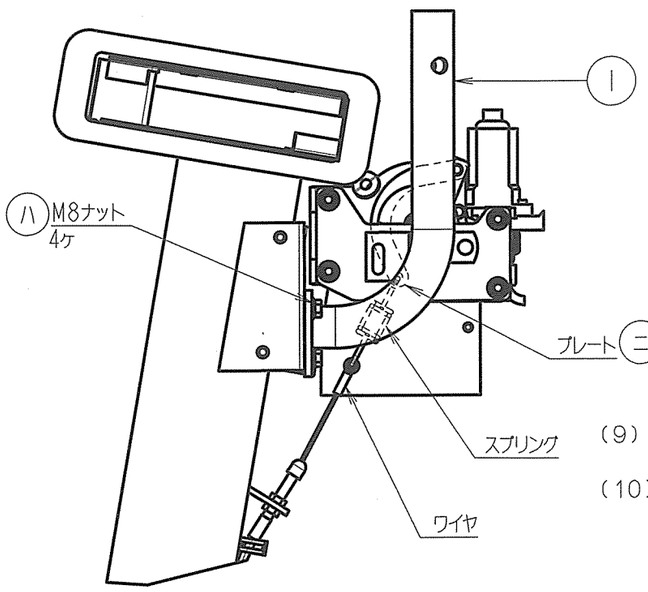
オーガ先端操作キット　作業要領書1

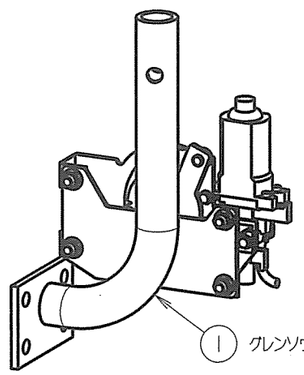




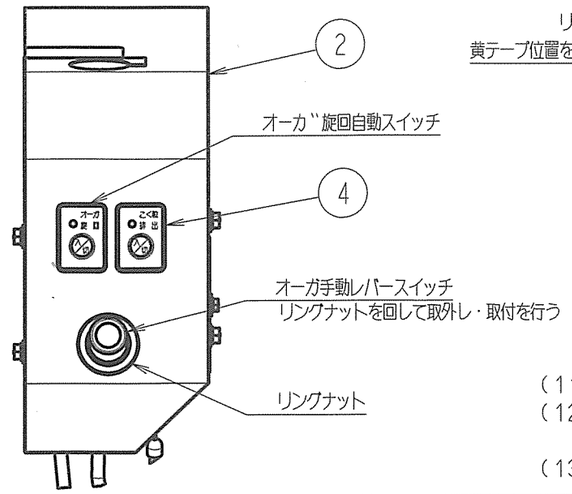


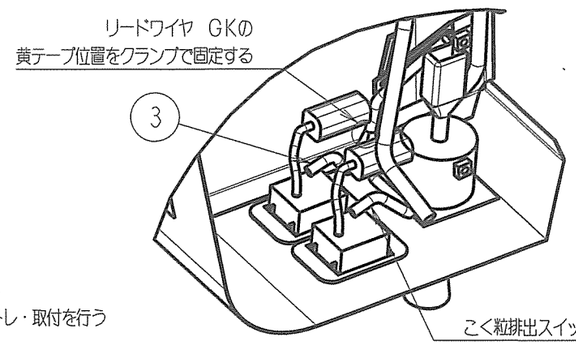
（1）エンジンを始動しオーガを機体後方まで旋回させエンジンを停止します。
（2）グレンタンクのオーブン要領に従いタンクをオーブンします。
（3）クレビスピン・スナップピンを外し、オーガ受けを外します。（これらの部品は再度使用しますので保管しておいて下さい。）
（4）カバーAを取り外す為、排出レバー先端部のグリップを外し、カバーA内部の配線コネクタを外します。（グリップはプライヤー等で回すと簡単に外れます。）
（5）(イ)M8ボルト（4ヶ）を外し、現在取付けてあるカバーAを取り外します。（カバーAに付いているオーガ手動レバースイッチ、オーガ旋回自動スイッチ、カバーB (ロ)M6ボルト（2ヶ）は再度使用しますので保管しておいて下さい。）
（6）スプリングを取り外します。（スプリングは再度使用しますので保管しておいて下さい。）
（7）スイッチのギボシを外し、本機配線側のギボシ同士を接続します。（本機配線側のギボシが外れているとエンジンが始動できません）
（8）(ハ)M8ナット（4ヶ）を外し、機体からフレームアッシを取り外します。



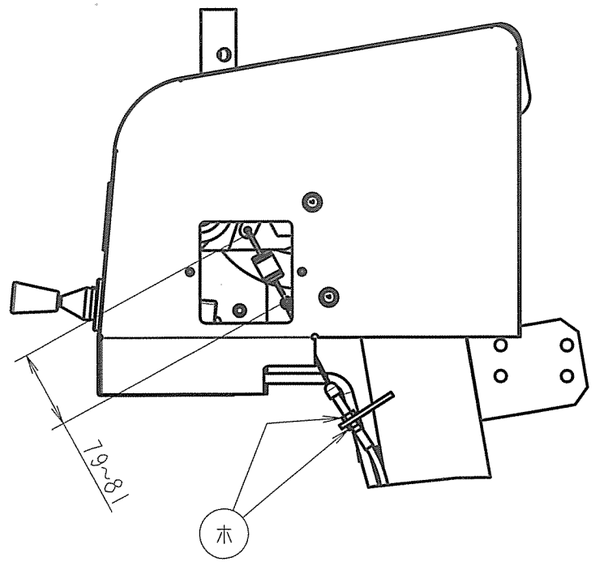


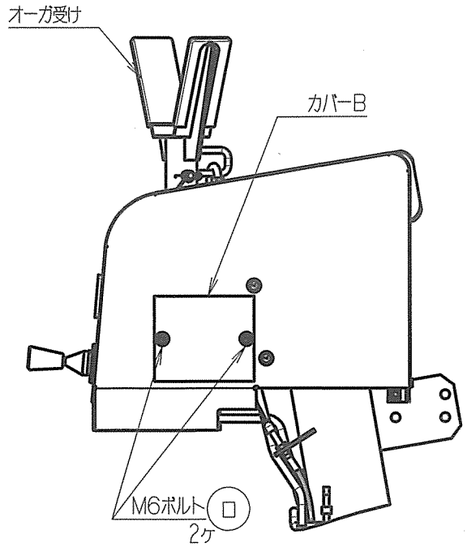
（9）(ト)グレンソウサアッシを手順（8）で外した (ハ)M8ナット（4ヶ）にて機体に組付けます。
（10）手順（6）で外したスプリングを (ニ)プレート及びワイヤに連結します。





（11）(2)新規カバーアッシに (4)スイッチアッシを組付けます。
（12）取り外したカバーAからオーガ手動レバースイッチ、オーガ旋回自動スイッチを外し新規カバーアッシに移設します。（配線は使用しません）
（13）(3)リードワイヤ GKを取り付け、各コネクタを接続します。

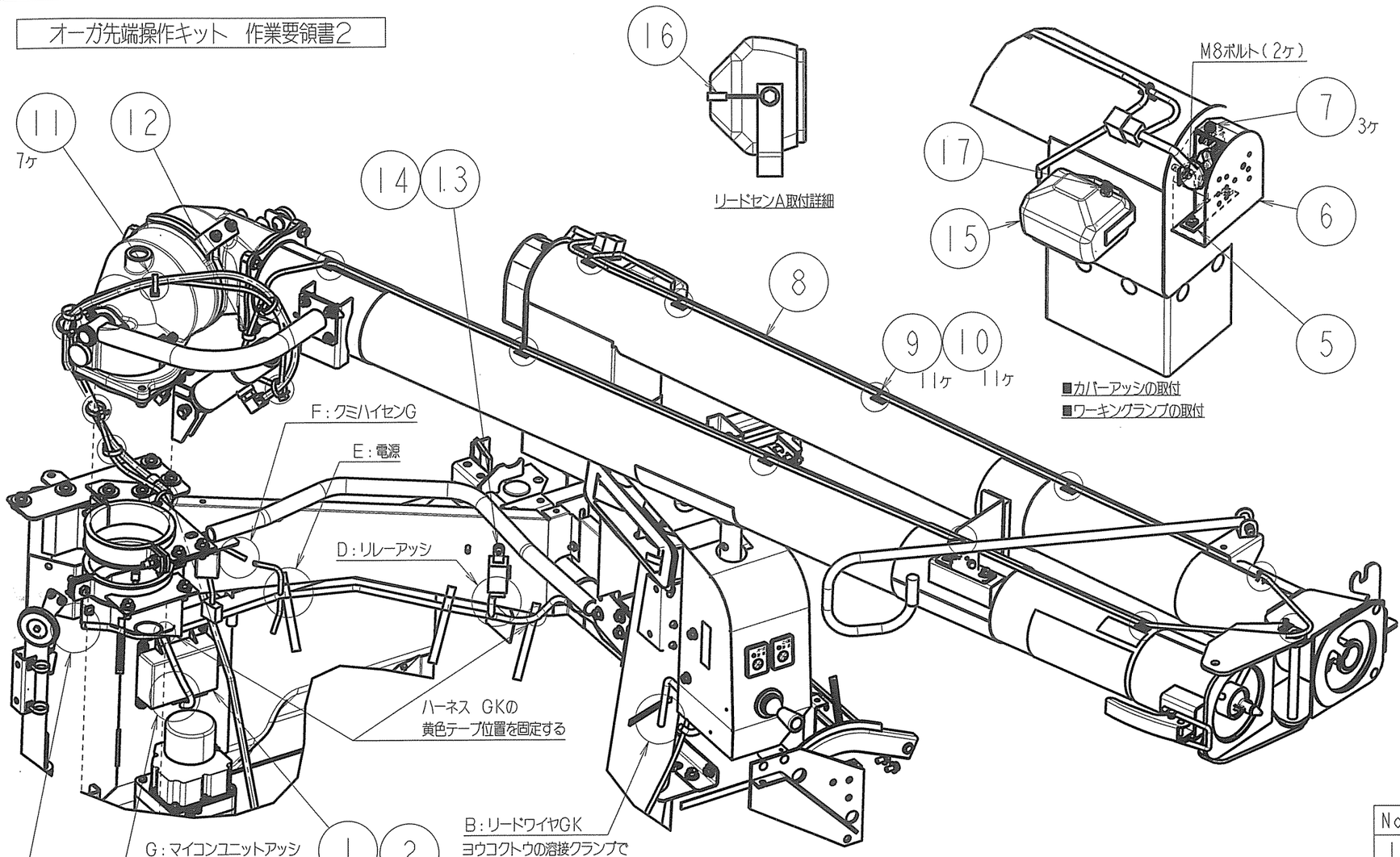


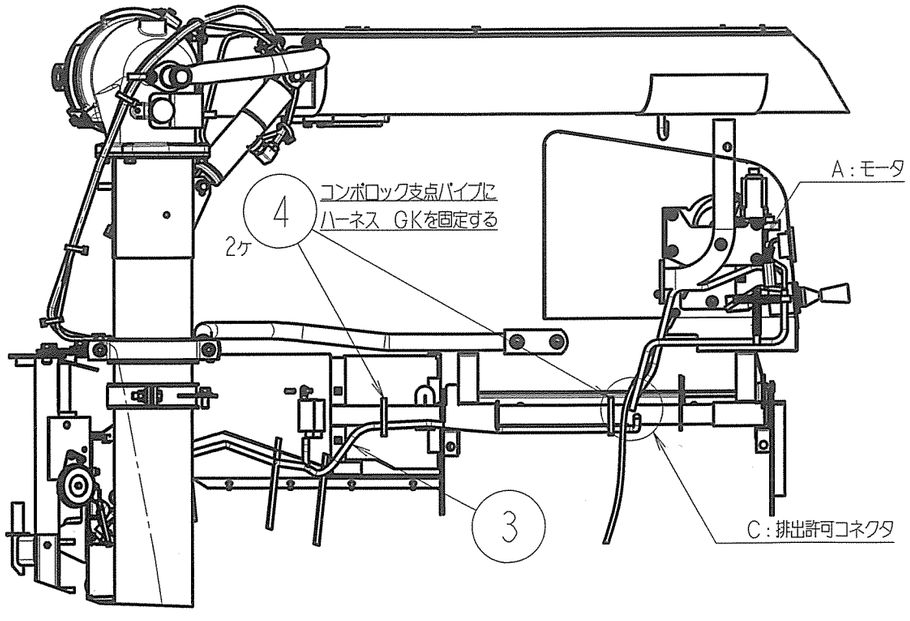


（14）作業要領書2に従い、配線（クミハイセンGK）の配索を行います。
（15）作業要領書2の作業が終了したら (2) 新規カバーアッシを機体に取り付けます。
（16）グレンタンクを閉じ、排出ベルトが正常な状態でプーリにかかっているのを確認後スタータスイッチを<入>の位置まで回します。（エンジンを始動する必要はありません）
（17）こく粒排出スイッチをONにします。（モータが作動し排出クラッチがON状態となります。）
（18）スタータスイッチを切ります。（排出クラッチはON状態のままです。）
（19）(2)新規カバーアッシの覗き窓からスプリングセット長（スプリングフックの内ー内寸法）が79~81mmになるようにアウタを調節し (ホ) ナットを締め付けます。
（20）エンジンを始動し、こく粒排出スイッチをONにして数秒間作動後、エンジンを停止します。
（21）再度、排出クラッチがON状態のスプリングセット長を確認し79~81mmになるよう再調整を行って下さい。
（22）カバーBを (ロ) M6ボルト（2ヶ）にて組付けます。
（23）手順（3）で外したオーガ受けを組付けます。
（24）エンジンを始動し、各動作が正常である事を確認して下さい。
（25）オーガを元の位置に戻します。

No	部品番号	部品名称	個数	備考
1	3596 9805 000	グレンソウサアッシ	1	
2	3707 9808 000	カバーアッシ	1	カバーにラベルを張り付けたもの
3	3707 9813 000	リードワイヤ GK	1	
4	3707 9814 000	スイッチアッシ	1	
5	3707 9802 001	サギョウヨウリョウショ 1	1	作業要領書1

オーガ先端操作キット　作業要領書2





■ ① マイコンユニットアッシの取付
・マイコンユニットアッシにクミハイセンGKのコネクタを接続します。
（黒コネクタ2ヶを接続。白コネクタは接続しません）
・図示位置（カッタカバーのPボタン4ヶ）にマイコンユニットアッシをナットで取り付けます。

■ ⑬ リレーアッシの取付
・図示位置にリレーをナットで取り付けます。

■ ⑥ カバーアッシの取付
・オーガ先端のM8ボルト（2ヶ）でプレートを取り付けます。
・カバーアッシをプレートに取り付けます。（ボルト3ヶ）

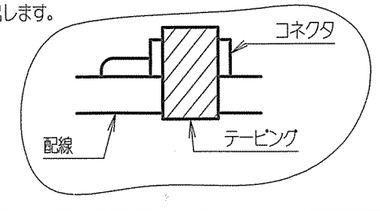
■ ⑮ ワーキングランプの取付
・ワーキングランプにリードセンAを取り付けます。
・上記をオーガパイプにボルトで取り付けます。

■ ⑧ クミハイセンGの配索
・オーガパイプにクランプベースを貼り付けます。（貼付面のゴミ・ほこり・油を除去してください）
・クミハイセンGをカバーアッシとワーキングランプに接続します。
・クミハイセンGをオーガパイプに沿わせて配索し、ワイヤバンドで固定します。
・オーガパイプ折れ曲がり部にワイヤバンドでクミハイセンGを固定します。
・オーガパイプにクランプを取り付け、油圧ホースに沿わせて図のように配索します。
・ワイヤバンド（7ヶ）でクミハイセンGを油圧ホースに固定します。
・ワイヤバンド締付後の余り分を切断します。

■ ③ ハーネス GKの配索
・ハーネス GKを既存のハーネス Bに沿わせて配索します。
・ワイヤバンド（2ヶ）でコンボロック支点部に固定します。
・ハーネス GKのコネクタ接続箇所は次の通りです。

接続箇所		備考
A	モータ	
B	リードワイヤGK	
C	排出許可コネクタ	コネクタのテーピングを外し接続する
D	リレーアッシ	
E	電源	電源取り出しコネクタのテーピングを外し接続する
F	クミハイセンG	
G	マイコンユニットアッシ	
H	ホーンサージキラー	ホーン近くにあるサージキラー（テーピングを外す）のコネクタを外し接続する

※配線上にコネクタがテーピングで固定されている箇所は
テーピングを外してコネクタを取り出します。



No	部品番号	部品名称	個数	備考
1	3594 9821 001	マイコンユニットアッシ	1	マイコンユニットアッシ取付
2	F300 0106 000	ナット	4	
3	3707 9823 000	ハーネス GK	1	キット配線配索
4	0051 1070 070	ワイヤバンド	2	
5	3575 9801 000	プレート	1	先端操作部
6	3606 9381 001	カバーアッシ	1	
7	H144 0106 016	ボルト	3	
8	3606 9397 000	クミハイセンG	1	オーガ配線配索
9	3596 9913 000	クランプベース	11	
10	0051 1022 030	ワイヤバンド	11	
11	0051 1032 070	ワイヤバンド	7	
12	0050 2108 103	クランプ	1	
13	3572 0857 000	リレーアッシ	1	排出クラッチモータリレー取付
14	F300 0106 000	ナット	1	
15	1208 7711 000	ワーキングランプ	1	作業灯
16	1007 2824 000	リードセンA	1	
17	H194 0106 012	ボルト	1	
18	3707 9803 001	サギョウヨウリョウショ 2	1	作業要領書2

⑱3707 9803 001

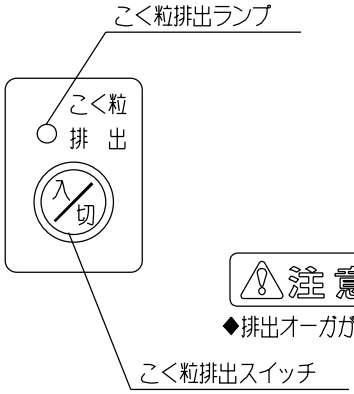
オ ー ガ 先 端 操 作 キ ッ ト　取 扱 説 明 書

●ご使用前に必ずお読みください
●身近なところに大切に保管してください

こく粒排出の操作方法

⚠警告　傷害事故防止のために

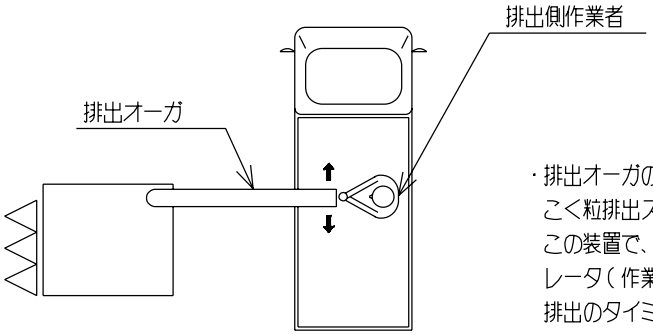
◆コンバイン運転者は、トラック等の排出側に作業者がいる場合に排出オーガを操作しないでください。
◆排出側の作業者はコンバイン運転者が排出オーガを操作している時に排出オーガに近づかないでください。



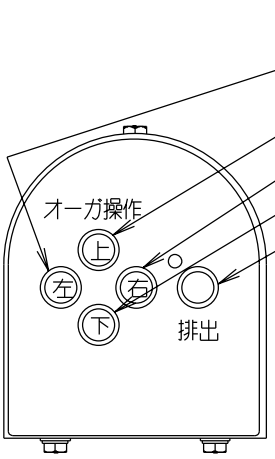
・排出オーガを排出位置にセットし、こく粒排出スイッチを押すと、排出オーガからこく粒を排出します。
（こく粒排出ランプ《点灯》）
・再度こく粒排出スイッチを押すと、排出を停止します。
（こく粒排出ランプ《消灯》）

※スタータスイッチ《切→入》後、自動的に排出クラッチは、《切》方向に作動します。

⚠注意
◆排出オーガが格納位置または折りたたみ状態では、排出操作をしないでください。



・排出オーガの先端にオーガ左右旋回・上昇下降スイッチと、こく粒排出スイッチが装備されています。
この装置で、トラックなどの排出側にいるオペレータ（作業者）がオーガ位置の微調整、オーガ排出のタイミングを決定することができます。



（１）排出オーガ左旋回スイッチ
（２）排出オーガ上昇スイッチ
（３）排出オーガ右旋回スイッチ
（４）排出オーガ下降スイッチ
（５）こく粒排出スイッチ

（１）排出オーガ左旋回スイッチ
・押すと排出オーガが左（排出側の作業者から見ると右）に旋回します。
（２）排出オーガ上昇スイッチ
・押すと排出オーガが上昇します。
（３）排出オーガ右旋回スイッチ
・押すと排出オーガが右（排出側の作業者から見ると左）に旋回します。
（４）排出オーガ下降スイッチ
・押すと排出オーガが下降します。
（５）こく粒排出スイッチ
・押すと排出オーガからこく粒を排出します。

3707 9804 000